

## 2026年度 科目別 授業計画(シラバス)

科目名	セレクトスキルアップ	必修 選択	必修	年次	2	開講区分	1セメスター	
学科・専攻	ヘアメイク科	授業 形態	実技	単位 時間	4単位 60時間	曜日 時限	月 1・2	
教員	財津園美	【教員実務 経験】銀行、文化施設勤務後香り全般を学び香りのスクール開校。アロマセラピー、香水、和の香りなど香りの文化を伝える。インストラクター育成、資格試験対応講座に携わる。						
【到達目標】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アロマセラピーに関する正しい知識を持つ。</li> <li>・アロマセラピーを実践、または活用ができるスキルを養う。</li> <li>・アロマセラピー検定1級合格を目指す。</li> </ul>							
【授業の学習内容】 アロマセラピー検定1級に合格するための知識習得。 精油30種類の香りを体験し、実習を通してアロマセラピーを活用する方法を身につける。								
週	授業形態	授業計画・内容					小テスト・中間テスト・定期試験	
1	登校	オリエンテーション 検定試験概要 アロマセラピーの基本 精油プロフィール①						
2	登校	精油について 精油の抽出方法① 精油プロフィール②						
3	登校	精油の抽出方法② アロマセラピーの安全性 精油プロフィール③						
4	登校	精油の抽出方法③ 精油プロフィール④ 精油の作用について					小テスト10点	
5	登校	アロマセラピーの歴史① 精油プロフィール⑤					小テスト10点	
6	登校	中間テスト アロマセラピーの歴史② 精油プロフィール⑥ 実習(ルームスプレー)					中間テスト30点	
7	登校	アロマセラピーの歴史③アロマセラピーの実践 精油プロフィール⑦						
8	登校	アロマセラピーの歴史④ アロマセラピーに役立つ素材①アロマセラピーのメカニズム①						
9	登校	アロマセラピーの歴史⑤ アロマセラピーに役立つ素材② アロマセラピーのメカニズム②						
10	登校	これまでの復習 実習(バスソルト)					小テスト10点	
11	登校	ビューティー&ヘルスケア アロマセラピーに関する法律 精油と環境					小テスト10点	
12	登校	これまでの復習 アロマデザインとは 実習(オードトワレ)						
13	登校	全体復習 期末試験					定期試験30点	
14	登校	全体復習 アロマ検定1級対策と模擬試験						
15	登校	全体復習 アロマ検定1級対策と模擬試験 成績評価						
準備学習 時間外学習	準備: 授業範囲のテキストは必ず目を通す。 時間外学習: 授業のノート整理、項目の復習、練習問題を繰り返し解く 試験対象の香りを記憶、30種類の精油のプロフィールを覚える							
評価方法	●習熟度 : 100点(到達目標に対する成長具合や習熟度) ◇出 席 : TS・実践・TB・HM・BR・国Bは70%以上、美容師は出席率80%以上(下回る場合は単位認定は無し、E評価となる) ◇合 否 : 60点以上で合格(A:100~90 B:89~80 C:79~70 D:69~60) 否(E:評価資格喪失、F:59~0)、 実習や習熟度が測れないものについてはS・U評価							
受講生への メッセージ	30種類の精油のプロフィールは出題メインのため早めにとりかかりましょう。 アロマセラピーの学びを通して香りの体験を重ねて香りを表現するポキャブラリーを養いましょう。							
【使用教科書・教材・参考書】 アロマセラピー検定テキスト、エッセンシャルオイル検定2級対応、エッセンシャルオイル検定1級対応Aセット								